

# 松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉  
 E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>  
 松阪教育支援センター「鈴の森教室」「三雲やまゆり教室」  
 〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp

日に日に、厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになってきました。  
 さて、2月28日に政府より新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、全国すべての小中学校、高校及び特別支援学校に臨時休校要請が出されました。各小中学校におかれましては、限られた時間の中で迅速かついねいな対応をしていただいております。新型コロナウイルス感染が終息し、子どもたちの元気な声が響く学校が早く再開できるように願っています。

## 研修講座報告その5 ～研修講座の様子をご紹介します！～

### B - 15 乳幼児教育Ⅰ

関わりのむずかしい子どもたち ～大切な《母と子》の視点から～

講師 阿久澤 栄 先生

前半は、自閉症、ADHD の子どもたちの行動、困り感、具体的な支援の仕方を分かりやすく教えていただきました。後半は、母子関係の悪さが子どもたちに与える影響、愛着対象者である母親、教員として、子どもたちのためにできることを具体的な事例をあげて教えていただき、学びを深めることができました。



### B - 16 乳幼児教育Ⅱ 「リズム遊び」

「リズム遊び」という演題で、シンキングゲーム、パネルシアター、マジックシアター、ダンスと多岐にわたる活動をご紹介いただきました。

活動の種類や行う順番など、会場の受講者全員が楽しめるよう工夫されていました。明るく歌い踊るパワフルな先生のご様子に、はじめは恥ずかしがっていた受講者もいつのまにか打ち解け、自然と笑い声や歓声が起こる温かい会場となりました。

講師 堀川 ゆみ子先生



### B - 17 乳幼児教育Ⅲ

「乳幼児のそだち『絵で見る子どもの発達』—大人との相互関係をベースに—

講師 志村 浩二 先生

子どもの発達や様々な技術の向上にはコミュニケーションが密に関与していることや、子どもの描く絵や体の使い方があらゆる点でつながって成長していくことを、具体的な事例をご紹介いただきながらご教授いただきました。参加者からも「実感がわき、大変わかりやすかった」という感想が多数寄せられました。



## 松阪教育支援センター「鈴の森教室」「三雲やまゆり教室」

当センターは「疲れた心を元気にする」「あなたの気持ちや考えを大事にする」ことを大切にしています。通室生支援活動では、2つの教室を開設し、体験活動や小集団での活動を通して、子どもたち同士や指導員との交流を深め、心を安定させたり、人との交流の楽しさを感じられたりできるように努めています。本年度もセンターに通うことで、元気になっていく姿を見せてくれた子どもたちがたくさんいます。区切られたスペースでしか過ごせないとっていた子が集団の中で過ごすことができたり、自分の意見を曲げられなかった子が他の意見も受け入れて他者とやさしくかかわれたり、学校のことを話さなかった子が学校の様子を気にして登校したりと、様々な変化を見ることができました。自分のペースを守りながらも徐々に他者と触れ合っていくことで、硬かった子どもたちの表情がほぐれていく様子を間近で感じることができました。今後も、子どもたちが安心して他者とともに居られる空間作りを目指していきたいと思います。

松阪地域の不登校児童生徒のうち、当センターの「鈴の森教室」「三雲やまゆり教室」の通室生としてかかわることができた児童生徒の数は、全体の約1割にとどまっています。外に出られず、自宅で休んでいる子どもたちにとっては、自宅が一番安心できる場所です。安心できる場所にいることで、子どもたちはエネルギーを溜め、外に出る準備をしています。エネルギーが溜まったときには、自らの意志で外に出ようとします。「外に出てみようかな。でも、いきなり学校に行くのは勇気がいるなあ。」「少しずつ外に出るのに慣れていけるといいんだけど。」などと子どもたちが思ったときに、きっかけとして当センターを紹介していただけたら幸いです。

教育相談活動では、休みが増えはじめてきたことで心配なことや、不登校の子どもへの支援の仕方等の相談も受け付けています。少しでも早い時期に、子どもへの支援や不安に感じていることの相談をしてもらうことで、欠席の長期化を防ぐことができます。教員だけでなく、保護者の相談も受け付けていますので、気になる児童生徒がいましたら保護者に当センターをご紹介ください。また、距離の問題やその他の事情で当センターまで足を運んでいただけない保護者の方との相談、家から出られない児童生徒の話を聞いたり、かかわったりする訪問相談も行っております。

担任会研修会では、不登校児童生徒をどのように支援していくか、専門の先生をお招きしてお話していただいたり、先生方が日ごろ悩んでいることについての質問に答えていただいたりしています。来年度も年3回予定しておりますので、ぜひご参加ください。